


**知っていますか?** 神奈川県

**感染防止対策取組書**

神奈川県は、お店や施設が行っている「感染防止対策」を見える化するシステムを導入いたしました。




「The life is an inspiration!!」＝「人生にとって閃きが大切である」という意味

## 音楽を耳で覚える

生まれも育ちも磯子です。今の磯子区役所があるところに僕の通った浜小学校がありました。埋め立てが始まる前だから、校庭の先は海。今の磯子駅前前は全部海だったんです。そして海の反対側には山。海で遊んだり、蛇を捕まえたり、自然豊かな環境で育ちました。

家の裏の高台には「ひばり御殿」と呼ばれた美空ひばりさんのお宅があり、時々遊びに行っていました。ラッキーなことに、同級生がひばりさんの親戚だったんです。忘れられない自慢の思い出です。

ピアノを始めたのは3、4歳の時。父が音楽好きでピアノを買ってくれたんです。父は、僕に伴奏させて「荒城の月」を歌うような人でした。家では、ラジオ関東（現在のラジオ日本）からいつも音楽が流れていました。磯子にはアメリカ人が結構住んでいたの、FEN（在日米軍向けラジオ。Far East Networkの略称。現AFN）もよく聞いていましたね。プレスリーやリッキー・ネルソンといった流行の曲から、ジャズ、日本の歌曲など、さまざまなジャンルの曲を耳で覚えてピアノで弾いて。だから、プロになった今

でも譜面を見て弾くより、自分が感じるまま好きなように弾くのが得意ですし、好きなんです。

## バンドに魅せられて

中学生になると、アメリカン・スクールの友達とバンド活動をスタートさせました。あの頃、ビートルズのように、演奏しながら歌うというスタイルが斬新で格好よく見えたんです。ミッキーという愛称は、「本名（光義）が呼びにくいから」と、ロイという友達がつけてくれました。

その後、バンドマンだった叔父が僕の演奏を聴いて、セミプロのバンドの知り合いを紹介してくれました。中学生ながらバンドに加わり、ナイトクラブやダンスホールで演奏。当時は社会がだらかで大目に見てもらえたんですね。

そして縁あってたどり着いたのが、16歳で加入したゴールデン・カップスでした。高校の担任の先生にバンドに誘われたことを相談すると、「学業を取るか、音楽を取るか」と迫られ、「音楽を取ります」と高校を辞めてしまいました。親には事後報告です。しつけには結構厳しい両親でしたが、「自分で決めたことだから」と許してくれました。

**「音楽は一人ではできないもの。人が集まって音を奏でるから、音楽がカラフルになるし、楽しさも生まれる」と話すミッキー吉野さん。16歳でデビューし、ミュージシャンとしてのキャリアは半世紀以上になる。音楽と横浜をこよなく愛するミッキーさんに話を伺った。**

ゴールデン・カップスのメンバーは年上ばかり。ところが、メンバーの一人に言わせると、まったく物おじしていなかったそうです。生意気でしたね（笑）。当時はリハーサルなしでいきなり本番のステージ。僕はもともと、その場で聴いてアレンジしながら弾いていたので、ステージでも緊張することはありませんでした。

## ゴダイゴ誕生

16歳でプロの世界に入って、ゴールデン・カップスを通じて学んだことがたくさんありました。同時に、疑問に思ったこともあり。自分はなぜ音楽をやるのか。音楽のアイデンティティはどこにあるのか。これらを踏まえてつくったグループがゴダイゴです。バンドとしてのビジョンが明確でない形にできないし、ビジネスとしても成功しないと活動が続かない。メンバーは、自分にないものを持っている人に声をかけました。強く思った者が勝つて言うじゃないですか。「絶対に成功する」と信じてやっていました。

このバンドは、僕の音楽活動の集大成といえる存在です。一度活動を停止して、2006年に再始動。今も一緒に音楽をつくっています。今年の5月にメンバーの浅野孝己が亡くなりました。とても残念で、無念です。次にゴダイゴでライブをする時は、彼の追悼を込めた内容にしたいと思っています。

## ホームグラウンド、横浜

都内に住んでいますが、スタジオはまだ磯子にありますし、毎年、年末には新山下の横浜クルージングクラブでライブをやっています。横浜で演奏する機会も多いですね。今年、伊勢佐木町のクロスストリートと

いうイベントスペースが10周年で、記念のライブをやる予定でした。残念ながらコロナウイルスの影響でなくなってしまいましたが、オープニングの時にも演奏した思い出がある場所です。横浜で演奏をする時はいつも、ホームグラウンドという安心感がありますね。

音楽って土地の影響を大きく受けるものなんです。横浜は西洋と日本の文化のひとつの融合点。この土地からゴールデン・カップスをはじめ、さまざまなバンドが生まれてきました。僕のつくる音楽の中にも、横浜で培われたものがきくと感じられると思います。



キーボーディスト  
アレンジャー  
ソングライター

**ミッキー吉野さん**  
Mickie Yoshino

1951年横浜市磯子区生まれ。1968年、ザ・ゴールデン・カップスに加入。グループ脱退後の1971年、アメリカ・パークリー音楽大学に留学。帰国後、1976年にゴダイゴを結成。「モンキーマジック」「ビューティフル・ネーム」「銀河鉄道999」など数々のヒット曲を発表。現在は再始動したゴダイゴのバンド活動のほかプロデューサーや作曲家として幅広く活躍している。

## 8月23日(日) 東戸塚で相談会

### 相談会概要

- 日程 8月23日(日)
- 時間 ①9:30～ ②10:30～  
③11:30～ ④12:30～
- 定員 各日各回先着1組  
※完全予約制、参加費無料
- 相談員 アンカー税理士法人  
増田朋希先生
- 会場 SSビル3階  
JR東戸塚駅西口徒歩2分
- 相談会のお申込み・お問い合わせ 積水ハウス(株)横浜支店

WEBでのお申込み



**0120-307-341** 10:00～17:00  
(火水祝定休、8/9～8/16夏季休暇)

応募メール hello@sekisuihouse.co.jp  
メール・WEBのみ24時間無休での受付  
※応募者の個人情報は、相談会運営と今後の案内に利用します。

## 税理士に聞ける! 「相続の無料個別相談会」開催

### こんな人は相談してみませんか

- わが家の相続税がどれくらいかかるか知りたい
- 首都圏に土地を所有している
- 二次相続まで見据えた対策って?
- 資産の整理に悩んでいる



「相続税なんてお金持ちの話」であったのは一昔前の話。2015年に行われた税制改正により、サラリーマン家庭にとっても相続税はより身近な話題となりました。首都圏に、自宅以外の土地やマンションを所有している人の大半は、相続税の対象になっていると言われていいます。持っている不動産や資産をどのように整理していくかは悩みのところ。相続は「争族」と呼ばれることもあるほどデリケートな問題です。

しかし、相続の悩みは多くの人を経験することとはいえ、専門家に直接相談できる機会は多くはありません。

積水ハウスでは税理士、増田朋希さんを招

き「相続・税務個別相談会」を開催します。個別の相談会なので、プライベートな悩みも相談できます。少しでも気になること・不安なことがある人は、思いがけない課税や、相続トラブルを防ぐためにも、この機会に専門家へ相談をしてしっかり対策を立ててみませんか。

お申込みは電話、WEB、メールから。メールでお申込みの場合は、お名前、ご住所、電話番号、ご希望日時、ご参加人数を明記ください。

お気軽に  
ご相談を

